

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【地震一口メモ】

地震発生時の解説資料の発表、及び、緊急記者会見の発信について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため 1989 年 1 月より月 1 回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

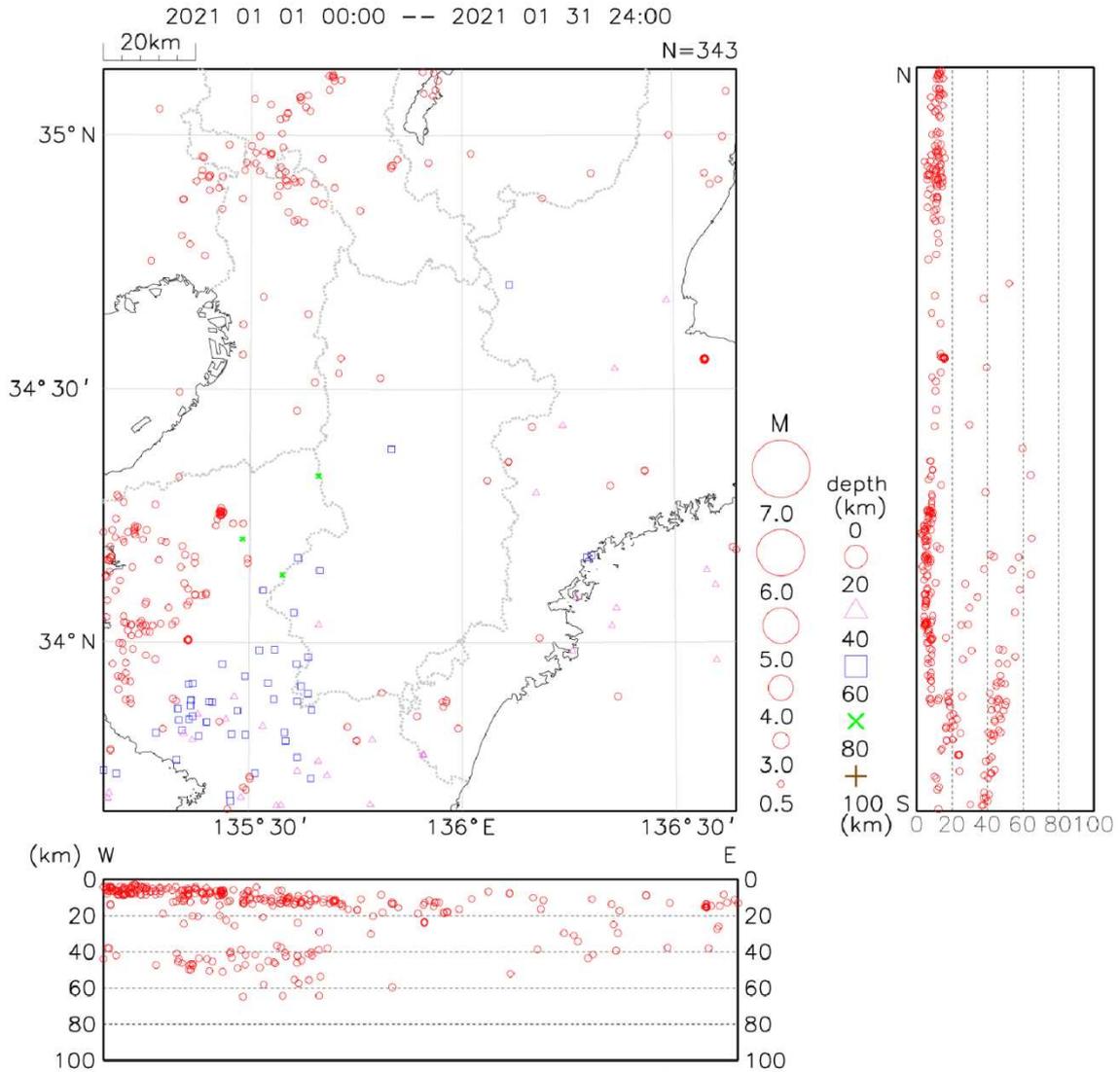
奈良地方気象台

2021 年 1 月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

奈良県内で1月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

【地震一口メモ】

～地震発生時の解説資料の発表、及び、緊急記者会見の発信について～

奈良県では、被害を伴うほどの地震の発生は稀で、多くの人は地震災害対応の経験がありません。しかし、ひとたび発生すると甚大な被害が広範囲に及び、防災関係機関は様々な対応を短時間に行う必要があります。このような場合に地域住民はもちろん、地方公共団体や消防団等による救難救助活動等の防災対応を気象庁では資料提供・情報解説等により支援しています。奈良県で規模の大きい地震が発生した場合、以下基準により解説資料の発表や緊急記者会見（気象庁・大阪管区气象台）を実施しています。地震発生時には有効にご活用下さい。

＜実施基準（奈良県で観測された震度）＞

- ・震度4以上の場合は**地震解説資料（速報版）**を発表する
- ・震度5弱以上の場合は**地震解説資料（詳細版）**も発表する
- ・さらに、震度5強以上で気象庁、及び大阪管区气象台で**緊急記者会見**を実施する

地震解説資料（速報版）とは

地震災害対応の迅速な立ち上がりを支援するため、地震情報をひとまとめにしています。地震発生後30分程度で地方公共団体等向け専用ホームページに掲載します。

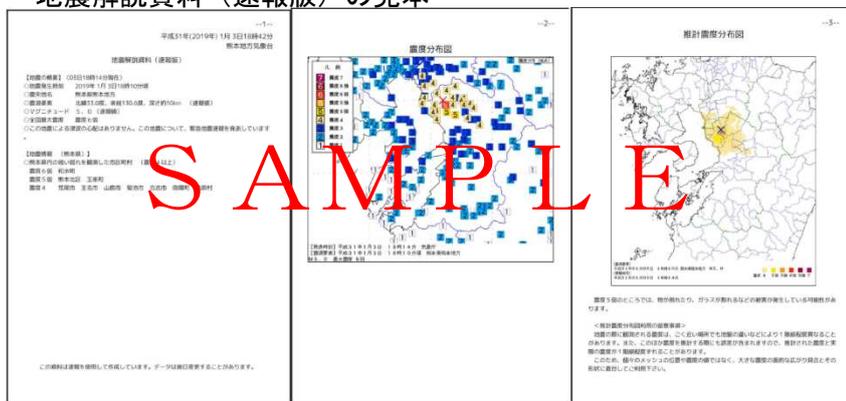
地震解説資料（詳細版）とは

地震解説資料（速報版）の内容に加えて、発生した現象やそれに伴う留意事項等にその地域での最近の地震活動の状況や過去の状況などに関する内容を加えた資料です。これを、状況に応じて続報を適宜発表します。地震発生から約1～2時間後に気象庁ホームページ、地方公共団体等向け専用ホームページに掲載します。また、震度5弱未満でも社会的に関心が高いと思われる地震が発生し必要と判断した場合も発表します。

緊急記者会見について

地震発生から1時間30分から2時間30分を目途に、地震解説資料（詳細版）の資料の内容に沿って会見します。テレビやSNS（Twitter、YouTube および TikTok）を通じて発信されます。また、震度5強未満でも社会的に関心が高いと思われる地震が発生し必要と判断した場合も実施します。

地震解説資料（速報版）の見本



本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去5年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

